

ニュース・レター

一般社団法人
日本看護研究学会中国・四国地方会事務局
〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1
山口大学医学部保健学科内

運営委員長

山勢 博彰

山口大学大学院医学系研究科

今年3月に起きた東日本大震災は、東北地方のみならず、日本そのものを危機に陥れました。復旧・復興への進展は順調とは言えず、福島原発事故の影響も終息が見えません。災害からの立直りは、一朝一夕に果たせるものではなく、様々な人々の努力によって徐々に進んでいくものと思います。日本看護研究学会でも、「大規模災害支援事業」を開始することになり、看護職を目指す学生の修学継続と、看護学研究者の研究継続を支援することになりました。本会に限らず、多くの学会も災害支援に尽力しています。様々な領域からの支援が、復旧・復興への形となって成果が出るように祈るばかりです。

さて、中国・四国地方会の運営委員長を拝命し、1年半を過ぎようとしています。その間、対応事務局の整備、新しい封筒の作成、ホームページ更新、運営委員会会議の調整と開催などの仕事をしてきましたが、まだまだ十分な対応ができていないと思っています。他学会でも、事務局的な仕事をいくつか引き受けておりますが、学会を運営していくことは、大変な責任と忍耐強さがないとやっていけないと実感しております。事務局として、また、運営委員長として足りないところがあると思いますので、諸先生方の力を借りながら本地方をより一層盛り上げていきたいと思っています。

第24回学術集会が徳島で開催されました

当日は時折、雨が降るといふあいにくのお天気でしたが、「先ず隗より始めよ！看護研究！実践と研究をつなぐ」をテーマに300名と大変多くの方々にご参加いただきました。

今回からより研究に意欲的に取り組めるよう研究成果を評価し、表彰することを企画しました。優秀ポスター賞の告知をしたためか示説が41題と大変多くなり、午前午後に入れ替え制を取らざるを得なかったのが少し残念でした。閉会式に表彰状を、直接お渡しできたのはお一人の方のみでしたが、大変喜んで下さった姿が今も目に浮かびます。学術集会後に大震災が発生し、いくつかの地方会学術集会が中止になりました。看護できること、当たり前のことを当たり前と感じられることに幸せを感じています。

本当に多くの方々のご支援のおかげで学術集会が開催できたことに感謝申し上げます。なお学会に協力下さいました有志の皆さんから、後日寄付を頂戴し「大規模災害支援事業」に寄付したことをご報告致します。

実行委員長 徳島大学大学院 川西 千恵美

第24回学術集会に参加して

広島大学大学院保健学研究科博士課程前期生 中吉 陽子

徳島大学で開催された日本看護研究学会中国・四国地方会第24回学術集会に参加するため、山陽新幹線と高德線乗り継ぎ徳島県を訪れた。私は地方会の学術集会に初めて参加したが、徳島県は馴染み深く懐かしい場所なので、楽しみだった。

学術集会では、テーマ「先ず隗より始めよ！看護研究！実践と研究をつなぐ」の下、様々な分野で活躍する方々が看護実践に貢献すべく、日々取り組んでいる研究成果を発表されていた。基礎看護分野で研鑽中の私には、見聞きする全てが新鮮かつ興味深く、多角的視点から自分の研究を見つめ直すきっかけを得た。発表者の生の声を耳にし、研究を継続する困難さとそれに勝る研究への情熱を感じ、研究への純粋な意欲がこうした成果を導くと知った。

看護学発展への先輩方の足跡を間近に辿りながら、自分の研究がいつの日か看護の発展に寄与できるよう今後の研究活動に取り組もうと、確かな手応えを感じつつ帰路に就いた。

学術集会運営関係者の皆様の細やかで優しく温かな雰囲気と心遣いに深謝申し上げます。

平成 22 年度事業報告

1. 第 24 回学術集会開催

実行委員長：川西千恵美 先生

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授)

日 時：平成 23 年 3 月 6 日 (日)

場 所：徳島大学蔵本キャンパス

テーマ：「先ず隗より始めよ！看護研究！実践と研究をつなぐ」

演 題：口演 9 題、示説 41 題、(計 50 題)

参加者：事前登録者 234 名、当日参加者 66 名

2. 平成 22 年度総会開催

日 時：平成 23 年 3 月 6 日 (日) 12:20 ~ 12:40

場 所：徳島大学蔵本キャンパス

3. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第 1 回運営委員会会議(平成 22 年 8 月 21 日、岡山市)

- ①第 23 回学術集会の報告。
- ②昨年度の学術委員会活動について報告。
- ③ニュース・レターの原案について承認。
- ④事務局が山口大学に移転したこと、封筒の作成状況や、会計管理などについて報告。
- ⑤第 24 回学術集会準備状況の説明。
- ⑥第 25 回学術集会開催地が広島に決定。
- ⑦第 27 回学術集会担当県は、愛媛で検討。
- ⑧第 26 回(鳥取)のときに記念事業をあわせて行うかについて検討。

(2) 第 2 回運営委員会会議(平成 23 年 3 月 5 日、徳島市)

- ①平成 22 年度事業報告
- ②平成 22 年度会計報告、監査報告
- ③平成 23 年度事業計画案
- ④平成 23 年度予算案

2) 学術委員会

(1) 第 1 回学術委員会(平成 22 年 8 月 21 日、岡山市)

- ①第 23 回学術集会学術委員会企画“特別セミナー”の報告。
- ②学術委員会企画“特別セミナー”を第 24 回学術集会においても行うことが決定。
講 師：野島 良子 先生
テーマ：「地方会の歩みと看護研究—さらなる発展に向けて—」
- ③野島良子先生に地方会より感謝状の贈呈を決定。

(2) 第 2 回学術委員会

(平成 23 年 3 月 5 日：徳島大学蔵本キャンパス)

3) 広報委員会

(1) ニュース・レター発行

平成 22 年度ニュース・レター 18 号を 9 月に発行。
会員 882 名に送付。

(2) 中国・四国地方会ホームページの更新

平成 22 年 9 月に更新。

平成 22 年度会計報告

【収入の部】

(単位：円)

費 目	22 年度予算	22 年度実績	差 異
前年度繰越金	393,348	393,348	0
地方会補助金	400,000	430,000	30,000
第 23 回学術集会特別セミナー 雑収入	0 410	5,500 154	5,500 - 256
合 計	793,758	829,002	35,244

【支出の部】

(単位：円)

費 目	22 年度予算	22 年度実績	差 異
郵送費	80,000	78,860	- 1,140
事務費	40,000	99,776	59,776
人件費	30,000	30,000	0
各種委員会活動費	175,000	150,066	- 24,934
印刷費	60,000	58,275	- 1,725
ホームページ管理費	20,000	36,750	16,750
記念事業等積立金	50,000	50,000	0
学術集会支援金	50,000	50,000	0
予備費	10,000	0	- 10,000
次年度への繰越金	278,758	275,275	- 3,483
合 計	793,758	829,002	35,244

事務局

事務局が山口大学医学部保健学科に移設され 2 年目を迎えました。前任の西村美佳さんに代わり、担当させて頂くことになりました山口大学の立野です。

慣れない点も多く、会員の皆様にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯努めてまいりますので、皆様からのご指導、ご助言を宜しくお願い致します。お問い合わせは、

事務局専用アドレス jsnr-cs@yamaguchi-u.ac.jp

をお願いいたします。

(事務局 立野淳子)

平成 23 年度事業計画

1. 第 25 回学術集会開催

実行委員長：宮腰由紀子 先生

(広島大学大学院 保健学研究科)

日 時：平成 24 年 3 月 4 日 (日)

場 所：広島大学霞キャンパス

保健学研究科棟および医学部教育棟

テーマ：看護活動を測る～諸科学と看護学の協働

2. 平成 23 年度総会開催

日 時：平成 24 年 3 月 4 日 (日)

場 所：中国・四国地方会第 25 回学術集会会場

広島大学霞キャンパス

3. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第 1 回

日 時：平成 23 年 8 月 7 日 (日) 16:00～

場 所：第 37 回日本看護研究学会学術集会会場

パシフィコ横浜

(2) 第 2 回

日 時：平成 24 年 3 月 3 日 (土) 第 25 回学術集会前日

場 所：中国・四国地方会第 25 回学術集会会場

広島大学霞キャンパス

2) 学術委員会

(1) 第 1 回

日 時：平成 23 年 8 月 7 日 (日) 運営委員会終了後～

場 所：第 37 回日本看護研究学会学術集会会場

パシフィコ横浜

(2) 第 2 回

日 時：平成 24 年 3 月 3 日 (土)

第 25 回学術集会前日 運営委員会終了後～

場 所：中国・四国地方会第 25 回学術集会会場

広島大学霞キャンパス

3) 広報委員会

(1) 平成 23 年度 ニュース・レター No.19 号を 9 月

に発行。会員約 900 名に送付。

(2) 中国・四国地方会ホームページの更新

平成 23 年 9 月に更新予定。



平成 23 年度予算

【収入の部】

(単位：円)

費 目	22 年度実績	23 年度予算	差 異
前年度繰越金	393,348	275,275	-118,073
地方会補助金	430,000	440,000	10,000
雑収入	5,654	154	-5,500
合 計	829,002	715,429	-113,573

【特別会計（記念事業等積み立て基金）収入の部】

(単位：円)

費 目	22 年度実績	23 年度予算	差 異
前年度繰越金	140,317	190,373	50,056
当年度積立金	50,000	50,000	0
雑収入	56	100	44
合 計	190,373	240,473	50,100

【支出の部】

(単位：円)

費 目	22 年度実績	23 年度予算	差 異
郵送費	78,860	80,000	1,140
事務費	99,776	40,000	-59,776
人件費	30,000	30,000	0
各種委員会活動費	150,066	105,000	-45,066
印刷費	58,275	60,000	1,725
ホームページ管理費	36,750	25,000	-11,750
記念事業等積立金	50,000	50,000	0
学術集会支援金	50,000	50,000	0
予備費	0	10,000	10,000
次年度への繰越金	275,275	265,429	-9,846
合 計	829,002	715,429	-113,573

【特別会計（記念事業等積み立て基金）支出の部】

(単位：円)

費 目	22 年度実績	23 年度予算	差 異
次年度繰越金	190,373	240,473	50,100
合 計	190,373	240,473	50,100

学術委員会

平成 22 年度は学術委員会企画特別セミナーとして、第 24 回学術集会 (in 徳島) において、徳島在住で長年地方会を牽引してきてくださった野島良子先生に「地方会の歩みと看護研究—さらなる発展に向けて—」と題する講演をお願いしました。日本看護研究学会ならびに地方会発足の背景とその後の発展、そこから見えてきた今後への課題について示唆に富むお話をいただきました。次回、第 25 回学術集会 (in 広島) では、研究倫理をテーマに 2 つの特別セミナーを予定しています。

(学術委員会委員長 中西 純子)

一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会 第25回 学術集会のご案内

看護活動の成果を評価することは、さらに良い活動を生み出す力となります。看護活動の評価では、人を対象に行いますので、看護研究倫理が問われます。そこで今回は、評価方法と研究倫理に焦点をあてて、皆さまと考えて参りたいと、テーマ「看護活動を測る～諸科学と看護学の協働」を企画いたしました。

広島県で行う今回は、中国・四国地方9県が独立地方会として学術集会を開催してちょうど一巡する集会となります。会場である広島大学霞キャンパスは、広島駅から続く平坦な道を歩いても30分とかからない便利なところ。早春の息吹の中で、看護活動の充実に向け、皆さまと共に熱く学びあって頂ければ幸いです。多くの皆様の御参加を、実行委員一同、心よりお待ちしております。

第25回学術集会実行委員長 宮腰 由紀子

テーマ 「看護活動を測る ～諸科学と看護学の協働」

会 期：平成24年3月4日（日）9：00～16：20

会 場：広島大学霞キャンパス 保健学研究科棟・医学部教育棟

プログラム

○一般演題（口演・示説） 演題・抄録締切は11月14日（月）正午。ポスター賞・スライド賞を予定しています。

○学術委員会企画

特別セミナー1 「看護研究における倫理—基礎編：基礎的知識を身につけよう！」

講師 内田 宏美（島根大学医学部看護学科教授）

特別セミナー2 「看護研究における倫理—実践編：こんなときどうする？研究におけるジレンマ」

コメンテーター 吾郷 美奈恵（島根県立大学短期大学部教授）

*具体的な事例を用いたグループワークを行います。

○第25回学術集会企画

教育講演1 「活動を測ろう～生体機能から探る」

講師 弓削 類（広島大学大学院保健学研究科教授）

教育講演2 「活動を測ろう～測定データの意味を引き出す」

講師 梯 正之（広島大学大学院保健学研究科教授）

*情報処理室でのコンピュータ操作を伴います。

教育講演3 「活動を測ろう～評価尺度を作る」

講師 樋口 匡貴（広島大学大学院教育学研究科准教授）

○企業展示

◎懇親会：日時～平成24年3月3日（土）17：30より

会場～広島大学病院入院棟2階「レストランみどり」

会費～5,000円

参加申し込み

事前登録は平成24年1月20日（金）までをお願いいたします。期日を過ぎますと、当日受付となります。各々の参加費は、次の表のとおりです。なお詳細はホームページをご参照下さい。

参加費	事前登録：平成24年1月20日まで	当日受付
会 員	4,000円	5,000円
非会員	5,000円	6,000円
学 生	1,500円	2,500円

発 行

〒755-8505

山口県宇部市南小串1-1-1

山口大学医学部保健学科内

一般社団法人日本看護研究学会中国・
四国地方会事務局

発行責任者

運営委員長 山勢 博彰

広報委員長 川西千恵美

問い合わせ先

日本看護研究学会中国・四国地方会 第25回学術集会事務局
広島大学大学院保健学研究科 基礎看護学研究室

事務局長 高瀬 美由紀

〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3

Tel：082-257-5963 内線 6326

E-mail：kenkyu25@hiroshima-u.ac.jp

ホームページ：http://home.hiroshima-u.ac.jp/kenkyu25